

## 病院を受診された患者さまへ

当院では機関長の許可を得て、下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください。

研究課題名 (研究番号)	産後腔壁血腫に対する動脈塞栓術における出血血管の予測因子に関する横断研究
当院の研究責任者 (所属)	安座間 喜明 (琉球大学病院 放射線科)
他の研究機関および 各機関の研究代表者	沖縄県立南部医療センター・こども医療センター (我那覇文清) 沖縄県立中部病院 (渡口真史)
本研究の目的	本研究では、腔壁血腫に対して動脈塞栓術で治療された方に対し、診療情報を利用し、腔壁裂傷の部位、造影 CT 所見、および血管造影の結果を解析し、責任血管との関連性を明らかにする研究です。
研究実施期間	研究機関の長の許可がおりた日～2028年3月31日
調査データ(該当期間)	2015年1月～2025年12月の期間の情報
研究の方法 (利用する試料・情報等)	<p>●対象となる患者さま 琉球大学病院、沖縄県立南部医療センター・こども医療センター、沖縄県立中部病院にて、動脈塞栓術で治療された腔壁血腫の方。</p> <p>●利用する情報</p> <p>①基本情報：年齢(撮影時)、生活歴(タバコ、飲酒)、妊娠出産歴、既往歴(糖尿病、高血圧、その他の疾患)</p> <p>②分娩に関する情報：器械分娩の有無、吸引分娩があればその回数、誘発剤使用の有無</p> <p>③内診・視診所見：腔壁血腫の位置、腔壁裂傷の有無およびその位置(方向性)、腔壁裂傷の深達度、Shock index(血圧、脈拍)</p> <p>④画像所見：血腫の位置およびサイズ、造影剤血管外漏出像(extravasation)、CTでの責任血管の同定(内腸骨系・IMA系あるいは不明)</p> <p>⑤血管造影/TAE所見：治療日、出血血管の分類、対側からの供血の有無、出血血管の本数、塞栓物質の種類、手技の成否、再発の有無、合併症の有無</p>

<p>試料/情報の 他の研究機関への提供 および提供方法</p>	<p>情報の提供を行う機関から研究機関への情報の提供は、パスワードでロックをかけたハードディスクで行います。 琉球大学内の研究であり、外部への情報の提供はありません。</p>
<p>試料・情報の二次利用</p>	<p>なし</p>
<p>個人情報の取り扱い</p>	<p>調査により得られた患者様の情報を扱う際は、個人情報とは関係のない符号または番号を付して匿名化し、氏名など患者さまを直接特定できる個人情報を削除したデータを使用します。また、研究成果は学会等での発表を予定していますが、その際にも個人情報の利用、公開は行いません。本研究以外の目的での利用は行いません。 匿名化に用いる対応表は、電子カルテシステム内の個人フォルダ内（データ管理責任者のもの）で管理します。 *データ管理（対応表）責任者：放射線診断治療学講座 診療講師 安座間喜明 なお、対応表の管理は各機関の規定により行い、機関間での授受は行いません。</p>
<p>本研究の資金源 （利益相反）</p>	<p>本研究は琉球大学大学院医学研究科放射線診断治療学講座への寄付金により研究を行います。 本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。本研究は琉球大学利益相反審議部会の利益相反手続きに従い、必要事項を申告し、その審議と承認を得るものとします。</p>
<p>お問い合わせ先</p>	<p>電話：098-894-1426 担当者：安座間 喜明</p>
<p>備考</p>	